外注化阻止ニュース

第４４２号

〔発行日〕２０１９年９月４日
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28

ＪＲの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

不正営業・非正規・事故多発

かんぽ生命 不正営業　郵政民営化の行き着いた先

ついに暴露された郵政の悪事

郵政かんぽ生命における違法営業が大きな社会問題となっています。報道では、ノルマ達成のために郵便局の信用を利用して言葉巧みに高齢者をだましてお金をまきあげる手法が暴露されています。不正営業件数は実に18万件を超え、さらに増加の一途です。日本郵政グループの組織ぐるみの詐欺行為です。

現場社員には〝目標〟という名の達成不可能なノルマが押しつけられ、達成できない社員にはパワハラや自爆営業の強要。うつ病などで退職に追いやられています。

すべては民営化から始まった

出発点は07年の郵政民営化です。小泉や竹中が推進した民営化によって利益だけが追求された結果が不正営業や現場の疲弊です。

河北新報　【明治30年1月18日第三種郵便物認可】

「かんぽ 虚偽説明まん延」

局員、営業の実態証言

手当稼ぐため 高齢者に狙い

日本郵政傘下のかんぽ生命保険とゆうちょ銀行が高齢者に対して不適切な販売を繰り返していた問題を巡り、東北地方の郵便局に数年前まで勤務した男性が河北新報社の取材に応じ、営業現場の実態を語った。厳しいノルマを背景に「虚偽の説明で加入させる不正な営業がまん延していた」として具体的な手法を証言。「娘や息子に知られたくないと泣き寝入りした高齢者がたくさんいると思う」と打ち明けた。

（25面に関連記事）

男性は新卒での入社から数年間、郵便局の渉外担当部署に勤務。個人宅を訪問し、かんぽ生命の保険商品を販売するのが主な業務だった。

「何だこの数字は」「契約を取るまで帰ってくるな」「給料泥棒だ」

各社員にノルマが課され、達成できないと上司や支社の担当者から怒号が飛ぶ職場環境が常態化していた。「自分がいた職場もそうだし、他局の同期に聞いても似たような雰囲気だった」と男性は話す。

「多くの社員が手当を稼ぐためにあらゆる『話法』を身に付け、貯金の多い高齢者を狙って足を運んでいた」と明かす。

定着していた手口の一つが「2年話法」。2年を経ずに保険が途中解約された場合、社員は営業手当を会社に返還しなければならず、その回避が狙いだ。

例えば、払込期間10年の保険商品について「保険料を毎月ではなく、2年分を一括で払えば加入できます」とうその説明をして加入させる。あたかも払い込みは終えたと加入者に思い込ませるが、実際には2年後から毎月請求が来る。その後に解約されても手当を返還する必要はない。

「相続話法」も常とう手段で、相続税や贈与税などの話をして節税目的の加入を促す。だが、社員はかんぽとゆうちょの資産しか把握していない場合が多く、銀行預金や土地などを含めた資産全体での節税には意味がないという。マイナンバーを持ち出した虚偽の説明を日常的にしていた。

泣き寝入り 不正…

保険商品の営業現場で横行する一連の不正が明るみに出なかったのはなぜか。男性は「不要な加入が後で分かっても『何で契約したんだ』と家族に怒られたくないからと、秘密にする人が多かった」と説明する。

男性自身も、相続やマイナンバーを持ち出した虚偽の説明を日常的にしていた。「罪悪感はあったが基本給が低く、営業手当を得るにはやるしかなかった」

と打ち明ける。

ある時、他県に住む親族の元にかんぽの営業が来たと知った。「自分の知らないうちに加入してしまったらと不安になった」。身内に提案できないような仕

郵政グループは40万人を超える従業員のうち非正規社員が48%超。労働者を大量に雇い、大量に辞めさせる典型的なブラック企業です。いまでは「非正規の待遇改善」と称して正社員の手当削減も行っています。

年賀ハガキの自爆営業を強要して利益をあげる。要員不足による超勤の常態化。それが誤配や交通事故を招いています。

「民営化でサービス向上」は真っ赤なウソでした。他方で取締役の役員報酬は２億円超。

ＪＲにおける安全と雇用の破壊

ＪＲ東日本では、鉄道部門はＪＲ本体に一切残さず、すべて外注化する構想が打ち出されました。すでに来年度募集には「乗務員は事務職」「駅で働きたいなら子会社に応募」「生涯乗務員にはさせない」と打ち出しています。

運転士や車掌の職名を廃止し、「人手をかけないメンテナンス」と言って検修業務もすべて外注化しようとしています。

鉄道会社であることを放棄し、安全と雇用を破壊し、金儲けに走る。かんぽ不正営業の事態が鉄道会社で起きたらどうなるのか？　現場からの反撃の闘いが必要です。